

# 空き家コーディネーターの育成とニーズに適したワンストップの相談体制の構築事業(熊本市)

<b>課題と目的</b>	<p>[課題] 空き家に関する多様な相談に対応できる人材育成、多様な専門家との連携による相談体制構築がされていない。</p> <p>[目的] 空き家相談員の育成及び連携体制の構築のため、多様な専門家及び民間事業者等との相談体制の構築、空き家等の相談に対応できる人材の育成、相談対応マニュアルやパンフレットの作成等に取り組む。</p>
<b>取組内容</b>	<p>①相談窓口(相談体制)の運用方針の策定及び市民向け啓発用パンフレットの作成 ②相談員育成研修 ③空き家相談窓口の開設 ④終活やライフプランニングの内容と絡めた空き家セミナー ⑤専門家連携体制構築</p>
<b>成果</b>	<p>①空き家相談窓口業務対応マニュアル、相談窓口Q&amp;A、空き家パンフレットの作成 ②総合的な相談に対応できる人材の育成③相談者への助言。相談データ蓄積 ④空き家セミナーによる意識啓発 ⑤連携先との「相談体制の構築」</p>

## ①相談窓口(相談体制)の運用方針の策定及び市民向け啓発用パンフレットの作成

相談窓口(相談体制)の運用方針を策定し、相談員の育成及び相談体制の構築を図るために「空き家相談窓口業務対応マニュアル」及び「相談窓口Q&A」を作成。  
また、市民の意識啓発を目的とする「空き家パンフレット」を作成。  
いずれも空き家対策研究会にて協議・検討を重ねて作成。



空き家パンフレット

## ②相談員育成研修 ⇒高度な人材の育成



1. 先進自治体講演会
2. 相談窓口業務研修

## ③空き家相談窓口の開設 ⇒助言。データ蓄積



H30.11.20~H31.1.31開催  
14会場。相談件数140件

## ⑤専門家連携体制構築 ⇒連携先との「相談体制の構築」

[相談員向けアンケートの集計結果]  
問)相談窓口を経験してみて、各団体等で開催される相談会等において空き家の相談があった場合、対応は可能と感じられましたか？

[回答結果]

1. 1人でも相談対応可能 ⇒ 17%
2. マニュアルやQ&Aがあれば対応可能 ⇒ 17%
3. 引継ぎ先として紹介できる団体があれば対応可能 ⇒ 62%
4. 相談が多岐に渡るため、相談対応は難しい ⇒ 4%

連携先との「相談体制の構築」に一定の成果

[今後の展開]

- ①空き家相談窓口業務対応マニュアルの更新
- ②定期的な空き家相談会の開催
- ③連携体制の維持と拡充
- ④空き家の所有者への情報提供

## ④終活やライフプランニングの内容と絡めた空き家セミナー

[第1回セミナー]  
空き家・終活セミナー  
⇒終活を交えて空き家予防法等を紹介  
参加者：25名

[第2回セミナー]  
空き家とライフスタイルセミナー  
⇒家屋の相続・利活用・資産運用・終活について、各専門家が紹介  
参加者：47名

